

令和7年度予算要求から読み解く 最新補助金トレンドと今できる準備

2025年度(令和7年度)の経済産業省予算要求が公表され、来年の補助金・支援制度の方向性が少しずつ見えてきました。物価高・人手不足・賃上げ・脱炭素など、中小企業を取り巻く環境変化に対応するため、補助金の重点分野も変わりつつあります。「公募が始まってから慌てる」よりも、今のうちに情報を押さえ、来年の投資・事業計画と合わせて準備しておくことが成功のカギです。

2025年度補助金トレンド

「人手不足」「賃上げ」「デジタル化」「省エネ」の4分野が補助金の重点テーマ／

生産性向上・省力化・人手不足対応

「中小企業省力化投資補助事業」をはじめ、自動化・AI・ロボット導入などの省人化投資支援が来年度も重点。特に「最低賃金引上げ」や「人手不足」への対応策として、中小企業の現場改善・省人化を後押しする予算枠が拡充される方向です。

■ 中小企業省力化投資補助事業

中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業等に対して、省力化投資を支援します。これにより、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図り、賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

■ 自社にあった申請方法が可能！

- ① 付加価値額向上や生産性向上に効果的な「汎用製品」を「カタログ」から選択・導入する「**カタログ注文型**」
- ② 個別の現場や事業内容等に合わせた設備導入・システム構築等の多様な省力化投資を支援する「**一般型**」



こんな方におすすめ

- 慢性的な人手不足で現場が回らない…。
- 検査・梱包・在庫管理など、手作業中心の工程を自動化・デジタル化したい

デジタル化・セキュリティ強化

「IT導入補助金2025」では、DX推進・電子帳簿保存法対応・セキュリティ強化枠の拡充が見込まれています。インボイス制度や電子取引保存への完全対応が迫る中、中小企業のデジタル基盤整備を継続的に支援していく流れです。

■ IT導入補助金2025

中小企業・小規模事業者等の労働生産性の向上を目的として、業務効率化やDX等に向けたITツール(ソフトウェア、サービス等)の導入を支援する補助金



こんな方におすすめ

- インボイス制度に対応した受発注システムを導入したい
- システムを導入して、業務を効率化したい
- セキュリティを強化したい

脱炭素・省エネ投資の後押し

電気代高騰・エネルギーコスト上昇を背景に、省エネ設備更新・再エネ導入支援の補助金が継続。

「省エネ投資促進支援事業費補助金」「中小企業等カーボンニュートラル推進事業」など、脱炭素経営に取り組む企業への支援が広がっています。

■ 省エネ投資促進支援事業費補助金

さまざまな業種で横断的に使われる汎用的な15設備の更新に対応する補助金です。

■ 取り組むべき3つのステップ

カーボンニュートラル推進事業で国の支援策がでているので中小企業がカーボンニュートラルの取組を進めるにあたっては、

- ①カーボンニュートラルについて知る
 - ②排出量等を把握する
 - ③排出量等を削減する
- の3つのステップで進めることがポイントです！



こんな方におすすめ

- 電気・ガス代の上昇で利益を圧迫している…。
- 古い設備を省エネ型に入れ替えることで、CO₂削減と同時に安定稼働・品質向上も実現

今からできる 3つの準備

1. G BizIDプライムの取得

すべての補助金申請で必須。発行まで2~3週間要するため年内申請がおすすめです。

2. 投資・改善計画の整理

「何を」「なぜ」「どんな効果があるか」を簡潔にまとめる。これが申請書の骨格になります。

3. 申請支援を受ける

補助金と税務・雇用・資金繰りを連動させることで、無理のない実行計画が作れます。

“コスト削減”よりも“生産性向上”に向けた投資が評価される時代に入っています。

今から準備を始めれば、来春の公募開始にスムーズに対応ができるため、ぜひ早急に進めましょう！

税理士事務所ヒロセ経営（認定経営革新等支援機関）

TEL:075-211-3331 MAIL:info@hirosekeiei.jp

〒604-8181京都市中京区綿屋町520-1京ビル2号館802

～認定支援機関で対応できます～

- 各種補助金申請
- 経営改善計画書の作成
- 創業支援
- 優遇金利での資金調達 など



▲ 動画でも ▲
ご視聴できます